



## ◆3年先の稽古と今強くなるための稽古(運動会を控えておもうこと)

台風が通過し、朝晩の風も熱から涼へと移ろいつつ、何気ない日溜まりに優しくもたくましく揺れる可憐な山百合の花に秋麗を感じる頃となりました。

さて、コロナ禍ではございますが、気候の良くなるこの季節、9月30日(金)に行われる運動会をはじめ様々なスポーツの話題が国内外で盛りだくさんの頃でもあります。海外からは、野球のメジャーリーグにおいて大谷翔平選手が104年ぶりにベーブルースの記録(投手で10勝以上、打者で2桁のホームラン)を塗り替える活躍という驚きのニュース、国内ではバドミントンの世界選手権で女子シングルス山口茜選手の大会2連覇、癌を克服しインカレ水泳の自由形メドレーリレーで池江璃花子さんが優勝するなど人々に生きる勇気と、感動を与えています。また、コロナ対策を万全にされた上で、栃木県で国民体育大会、9月10日からは大相撲秋場所が東京で開催など、経済活動や、子ども達の教育活動を遅滞させないように人々がカバーし合い、支え合っています。

私が尊敬する方の一人に、かつて「昭和の大横綱」といわれた第58代横綱千代の富士(故人)が、昔インタビューで次のようなことを語られていました。

「相撲界には『3年先の稽古』という言葉があって今日、明日とか1週間くらいやったってすぐには力はつかない。毎日毎日稽古することによって、3年くらい経ってようやく稽古の貯金ができ、本当の相撲の力がでてくる。そういう信念をもってがんばられる子はよくなっていく。つまり、力士としての体づくり、自分にあった相撲の型や技、怪我に強い体質づくりなどは、1か月や2か月の稽古、特訓などではつくりあげることにはできない。だからこそ、2年先、3年先の自分の姿や目標をしっかりとをもって、そこに到達するためには、今何をすべきか、そして、目標に向かってどのように成長していくか、

更には、そのための努力をいかに継続して行えるかということを実感して日々稽古していくことが大切であり、同時に、「3年先の稽古」と「今強くなるための稽古」の両方をやらなくてはならない。」とおっしゃっていました。

私は、この元横綱・千代の富士の言葉を「教育」の世界によみ替えてみました。「教育」における「3年先の稽古」と「今強くなるための稽古」とは、どのようなものでしょうか。

\* 3年先の稽古・・・長期的な視野で取り組まなければいけないこと。

- ・生涯にわたる健康な体と豊かな心の育成
- ・グローバル社会を生きる力 未来を切り開き、未来を創る力
- ・持続可能な社会に向けて、自分たちができることを考え、他者と協働し、解決していく力

\* 今強くなるための稽古・・・今ある課題 学校全体で取り組むべきこと

- ・いじめの未然防止と早期発見と解決
  - ・基礎・基本の徹底と学力の向上
  - ・体力の向上と自ら健康を増進しようとする態度の育成 グループエンカウンター活用の仲間づくり等々
- 子ども達と教師は、運動会に向けて取り組んでいきます。各学年の表現(ダンス等)の練習はもとより、応援練習、リレーやかけっこの昼休みを活用した練習、高学年各係の活動など、将来の自分たち自身、将来の運動会、そして将来の飯塚東小にとって、かけがえのない「3年先の・・・」「今強くなる・・・」の両面であると思います。

今後も、健康と安全を第1に考え、「長期的な視野」と「今の課題」の両方を大切に、飯塚東小の子ども達とともに歩んでいきたいと思っています。



## 2名の先生方の紹介(^-)-☆



9月から指導方法  
工夫改善教員として  
日野誠司先生をお迎  
えしています。

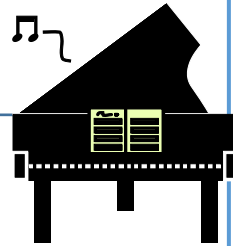


4年1組の担任の  
先生として北代光遠  
先生を8月からお迎  
えしています。

どうぞよろしくお願  
いします”(-“-)”



4年3組 津野 未来さんの表彰状が全日本ピアノ指導者協会から  
学校に直接届きましたので紹介させていただきます。  
誠におめでとうございます。



## 校長室などから見た運動会の練習の1コマ

